

# 第 19 回ヘルスカウンセリング学会学術大会

The 19th National Meeting of Academy for Health Counseling

# 第 4 回国際 S A T ヘルスカウンセリング会議

The 4th International conference of SAT Health Counseling

## 大会テーマ

ユニバーサルヘルス

2012 年 9 月 15 日（土）・16（日）

会場：筑波大学東京キャンパス

主催 特定非営利活動法人 ヘルスカウンセリング学会  
Academy for Health Counseling

## 第 19 回ヘルスカウンセリング学会学術大会参加申込書

会 期： 平成 24 年 9 月 15 日（土）10:00～（受付 9:30～）  
9 月 16 日（日） 9:50～（受付 9:30～）

大会会場： 筑波大学東京キャンパス

参加費： 会 員 5000円 （当日受付 6000円）

非会員 6000円

学 生 3000円（学生証のコピーを送付のこと）

\*お願い 大会受付の円滑化のため**事前登録**をお願いします。学会事務局まで  
F a x ・郵送でお申込みの上、**9月12日(水)までに**参加費をお振込み下さい。

振込み先

みずほ銀行本八幡支店 普通 口座番号 2805402 口座名義 ヘルスカウンセリング学会
---

会 長 宗像恒次

大会事務局 特定非営利活動法人ヘルスカウンセリング学会

〒272-0023千葉県市川市南八幡4-12-5-801

TEL : 047-314-1959 Fax :047-300-8277

.....切り取り線.....

第 19 回ヘルスカウンセリング学会学術大会参加申込書

必要事項を記入し、ヘルスカウンセリング学会事務局にお送りください。

氏名： \_\_\_\_\_ （  会 員       非会員）

連絡先住所： \_\_\_\_\_

電話： \_\_\_\_\_ ファックス \_\_\_\_\_

懇親会参加：       する       しない

参加費は下記の通りです。該当する項目に○をつけてください。

会 員 .....5,000 円

非 会 員 .....6,000 円

学 生 .....3,000 円 （学生証のコピーを送付のこと）

# 第 19 回 ヘルスカウンセリング学会学術大会

プログラム・抄録

大会テーマ

## ユニバーサルヘルス

主催：特別非営利活動法人  
ヘルスカウンセリング学会  
期間：2012年9月15(土)・16日(日)  
会場：筑波大学東京キャンパス  
(東京都文京区大塚3-29-1)

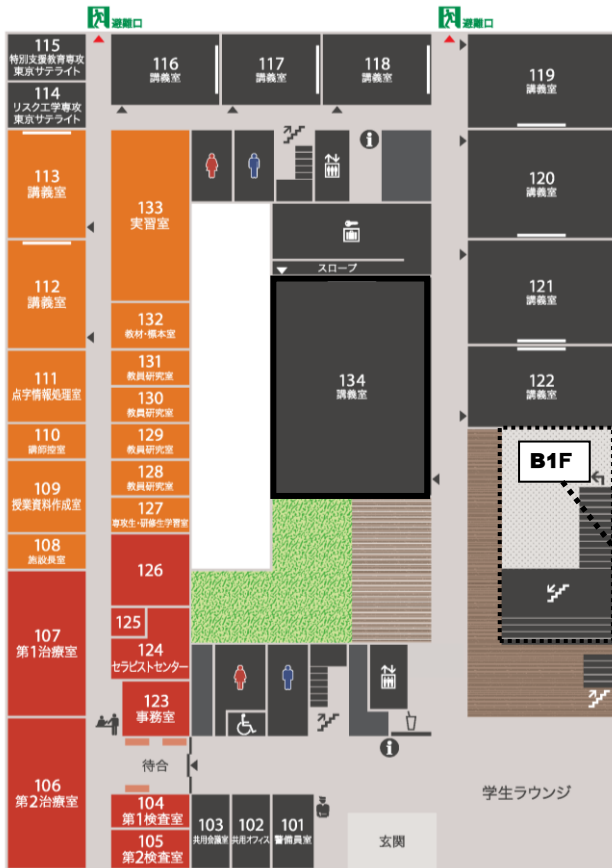
## 《会場案内》



住所：東京都文京区大塚 3-29-1

交通：丸の内線「茗荷谷」駅（東京から茗荷谷まで11分）下車徒歩3分

## 《会議室案内》



### 1F

9/15 (土) 会場

地下1階 多目的講義室1

玄関入り口より右前方の階段を下りてください。

9/16 (日) 会場

1階 134 講義室

玄関入り口より奥に進んで頂きますと直ぐ左手に講義室があります。



## 学会に参加される方へのお知らせ

### ＊ 大会受付

1. 大会参加受付開始日時・場所  
第1日目 9月15日(土) 午前9時30分～ ・地下 多目的講義室1  
第2日目 9月16日(日) 午前9時30分～ ・1階 134講義室
2. 受付の種類  
ご自身に該当する受付にて、受付をお済ませください。
  - ・事前参加申込(参加費等の振込)受付
  - ・当日参加受付
  - ・発表者・座長受付
3. 受付で配布された名札に氏名・所属をご記入いただき、会場では必ず着用してください。

### ＊ 昼 食

会場周辺、駅前にコンビニも含め多数レストランがあります。

### ＊ 懇 親 会

日 時：9月15日(土) 午後5時40分から6時40分  
会 費：無料  
会 場：地下ロビーにて

## 一般演題（口頭発表・ポスター発表）について

### ＊ 「口頭発表」発表者の方へ

- ①発表者は当該セッション開始30分前までに、大会受付で「発表者登録」を済ませてください。
  - ②発表者は当該セッション開始10分前までに会場控え室の当該セッション座長にお声をかけてください。
  - ③発表者一人あたりの持ち時間は15分です。発表は10分以内とし、残りの時間は質疑応答に充てます。その間、座長の指示に従ってください。
  - ④口頭発表は、すべてPC(Windowsパワーポイント)による発表とさせていただきます。プロジェクターは1台です。ファイルの動作を確認しますので、発表内容をCD-R、もしくはUSBメモリに記録し、9月10日(月)までに事務局までお送り下さい。不適合がある場合はご連絡します。なお、当日の発表内容の変更は原則としてできません。また、ファイルを記録したCD-Rを予備としてご持参下さい
- ◆シンポジウムの発表時間は、予め座長とご相談下さい。

## ＊「ポスター発表」演者の方へ

- ① 演者はポスターを掲示する前に、大会受付で「発表者受付」を済ませてください。
- ② 大会第1日目（15日）の10：00から、地下ロビーに設置されたパネルの指定された場所にポスターを各自で掲示ください。ご来場後、できるだけ早い時間帯に掲示くださいますよう、お願い致します。掲示用の押しピンはご持参ください。
- ③ ポスター発表のパネルは横90cm×縦180cmです。ポスターの最上部中央に、発表タイトル、演者（共同研究者を含む）、所属を明記してください。なお、演題番号は事前に表示してあります。
- ④ 示説、質疑応答は9月15日（土）16：20-17：40に行います。代表発表者はポスター掲示場所に待機して下さい。
- ⑤ ポスターの設営は9月15日（土）13：00までに行ってください。
- ⑥ ポスターの撤去は9月15日（土）17：45-18：15の間に行ってください。

## ＊ 口頭・ポスター発表座長の先生方へのおねがい

- ① 座長は、担当セッションの開始30分前までに、受付で「座長受付」をお済ませください。
- ② 担当セッションの開始10分前までに会場控へお越しいただき、発表者の確認をお願いします。
- ③ 第1日目16：20-17：40 ポスター発表・討論では、発表者は16：00に会場にお集りいただきますので、座長から進行方法についての説明を行なってください。
- ④ 口頭発表者が欠席の場合は、適宜発表を繰り上げて進行をお願い致します。繰り上げができない場合は、予定どおり進行してください。
- ⑤ 口演・ポスター発表時間は10分、質疑応答5分が原則です。座長の指示に従ってください。

## 座長へのお願い

- ◆ 各担当の15分前までに次座長席にご着席下さい。

## 総会

- ◆ 総会は9月15日（土）11：30より多目的講義室1で行いますので、運営委員の人は御参集ください。

## NPO活動報告・学会長授与式

- ◆ NPO活動報告・学会長授与式は9月16日（日）12：30より134講義室にて行いますのでご参集下さい。

## 理事会

- ◆ 新・旧合同理事会を9月16日（日）11：30分より120講義室で行います。

# 大会プログラム

第1日 9月15日 (土)

- 9:30 受付開始 (多目的講義室1)
- 9:50 開会式 (多目的講義室1)  
開会挨拶：保坂 誠 (学会理事長)
- 10:00 特別講演「釈迦は安らかに入滅されたか? ————— P17 (多目的講義室1)  
—現代脳科学から解く」  
貝谷久宣 (赤坂クリニック)  
座長：橋本佐由理 (筑波大学大学院)
- 11:10 昼食・総会 (多目的講義室1)
- 12:30 特別講演「ソマティック心理学」————— P19 (多目的講義室1)  
久保隆司 (アライアント国際大学)  
座長：宗像恒次 (ヘルスカウンセリング学会長・筑波大学名誉教授)
- 14:20 シンポジウム I 「世界のユニバーサルヘルスへのSAT介入法」 (多目的講義室1)  
座長：竹馬庸裕 (ちくばクリニック)  
田中京子 (ヘルスカウンセリングオフィスKR)
- ①「中国でのSATによるユニバーサルヘルス」————— P22  
楊文浩 (雲南大学大学生心理健康教育センター)  
胡文燕 (浙江省工商大学大学生心理健康教育センター)
- ②「欧州でのSATによるユニバーサルヘルス実現計画」————— P23  
Frank Buttgen (ACEKI国際研修部)
- ③「日本での自己報酬型キャリア支援とヘルシーカンパニー ——— P24  
山本美奈子 (株式会社エナジカンパニー)
- ④「WEBによるSAT人間関係アドバイス装置」————— P25  
山本潤一 (有限会社光海カンパニー)
- 16:20 ポスター発表・討議 ————— P39 (地下ロビー)
- 17:30 懇親会 (地下ロビー)
- 18:40 Satellite 第4回国際SATヘルスカウンセリング会議 (134講義室)  
The 4<sup>th</sup> International Conference of SAT Health Counseling  
Theme 「The Innovation of SAT therapy」



第2日 9月16日 (日)

- 9:30 受付開始 (134講義室)
- 9:50 一般演題発表 ————— P31-37 (134講義室)  
座長：村上多恵子 (愛知学院大学)  
瀬在 泉 (武蔵大学)
- 11:30 昼食・休憩
- 12:30 NPO活動報告・学会長賞授与式 (134講義室)
- 13:00 基調講演 「ユニバーサルヘルス」 ————— P14 (134講義室)  
宗像恒次 (ヘルスカウンセリング学会会長・筑波大学名誉教授)  
座長：保坂誠 (千葉県立保健医療大学)
- 14:40 シンポジウム II 「危機回避から危機学習の支援へ」 (134講義室)  
座長：樋口倫子 (明海大学)  
塩澤百合子 (国際医療福祉大学)
- ① 「重い障がいを負って生まれた娘を  
育ててくる中で学ばされたこと」 ————— P28  
塩澤研一 (公益財団法人 いのちの森文化財団)
- ② 「繊維筋痛症者と家族の危機学習への支援」 ————— P29  
中嶋一恵 (健康行動科学研究所)
- ③ 「アルコール依存者と家族の危機学習への支援」 ————— P30  
塩谷育子 (兵庫県立塚口病院)
- 16:40 閉会式 (134講義室)

# 研究発表

## ポスター発表

《9月15日(土)16:20-17:40》

### I. 座長：佐野 幸子 (TOSネットワーク) ————— P31-43 (134講義室)

1. 自分の死についてのアンケート調査からみえる傾向  
浅井宏友<sup>1)</sup>、佐野幸子<sup>2)</sup>  
1) 誠仁会尾野病院 2) TOS ネットワークメディカル部門
2. 勉強会入会時に配布するパンフレット作成  
～会員に勉強会の活動内容を理解していただくために～  
石垣範子、清水目明子、鈴木ちはる、鈴木理恵、高井容子、予五沢直子  
米嶋トシ子、渡瀬優子、立川妙子 (静岡勉強会)
3. テニスプレー課題へのユニバーサル心理支援について  
山口豊<sup>1)</sup>、窪田 辰政<sup>2)</sup>  
1) 筑波大学大学院 2) 静岡産業大学
4. 試合に向けての高校テニス部門への心理支援  
窪田 辰政<sup>1)</sup>、山口 豊<sup>2)</sup>  
1) 静岡産業大学 2) 筑波大学大学院

### II. 座長：吉田由加里 (株式会社コミュニー 稲毛介護ネット) ————— P44-47 (134講義室)

5. 体育・スポーツ系学生へのSAT カウンセリングシートを用いた  
文章力育成の心理教育指 ー自己効力感回復を通じた新たな教育指導法の試みー  
窪田 辰政<sup>1)</sup>、亀川かすみ<sup>2)</sup>、山口豊<sup>3)</sup>  
1) 静岡産業大学 2) 筑波大学 3) 筑波大学大学院
6. 身体感覚の感度を上げるための試み ～フォーカシング学習を通して～  
山本利喜子、福田隆三、小川あや、青木栄子、赤澤裕子、石川和美、篠原京子  
名越美和、福田亮介、康廣千澄、矢島京子 (Twinkle～輝き☆～)
7. 看護師の職場におけるいじめ体験尺度の開発  
木村美春 (筑波大学大学院)
8. 就労者の気質や心理特性と生活習慣との関連  
崎山紀子 (筑波大学大学院)

### III. 座長：小澤かほる (学会群馬県支部長) ————— P38-51 (134講義室)

9. 資格取得を妨げる気持ちについての考察  
南雲陽子、金佳子、矢島京子 (SOM 勉強会)
10. 大学生の死の回避的受容感とライフ・キャリア志向性との関連  
稲場夢有<sup>1)</sup>、樋口倫子<sup>2)</sup>、原和也<sup>2)</sup>、窪田辰政<sup>3)</sup>、橋本佐由理<sup>1)</sup>  
1) 筑波大学大学院 2) 明海大学 3) 静岡産業大学

11. 生活習慣病専門クリニックにおけるカウンセリングの取組み  
池田祥子、猪俣郁子、林由美子、渡邊亜由美、原田美代子、鶴居信昭、朝倉太郎  
金城瑞樹(鶴間かねしろ内科クリニック)
12. SAT法を活用した食事相談事例ー幼稚園児の母親を介入対象として見えてきたものー  
加藤由美子<sup>1)</sup>、橋本佐由理<sup>2)</sup>  
1) 帝京短期大学 2) 筑波大学大学院

**IV. 座長：首藤 照子 (防府消火器病センター) ————— P52-56 (134講義室)**

13. 看護短期大学生を対象とした自己レジリエンス向上の短期効果  
渡部 洋子<sup>1)</sup>、宗像恒次<sup>2)</sup>  
1) 帝京平成看護短期大学 2) 健康行動科学研究所
14. コミュニケーションにおける話し手と聞き手の発話量の比較  
松浦純平<sup>1)</sup>、上野栄一<sup>2)</sup>  
1) 奈良県立医科大学医学部看護学科 2) 福井大学医学部看護学科
15. EBNに基づいた会話分析とは何か  
上野栄一<sup>1)</sup>、松浦純平<sup>2)</sup>  
1) 福井大学医学部看護学科 2) 奈良県立医科大学医学部看護学科
16. 自閉症スペクトラム障害のある就学前児をもつ母親の不安と心理社会的要因について  
吉田美和子 (筑波大学大学院)
17. うつ支援のためのSAT自己サイバープログラムによるストレスマネジメント効果の検討  
中嶋一恵、宗像恒次(健康行動科学研究所)

**VI. 座長：山内恵子 (名古屋学芸大学) ————— P57-60 (134講義室)**

18. 被災された地域における心の支援活動 第1報  
ー復興状況とボランティア活動の現状  
眞崎 由香<sup>1)</sup>、樋口倫子<sup>2)</sup>、山内恵子<sup>3)</sup>、橋本佐由理<sup>1)</sup>  
1) 筑波大学大学院 2) 明海大学 3) 名古屋学芸大学
19. 被災された地域における心の支援活動 第2報  
ー後方支援を中心に  
橋本佐由理<sup>1)</sup>、眞崎 由香<sup>1)</sup>、樋口倫子<sup>2)</sup>、山内恵子<sup>3)</sup>  
1) 筑波大学大学院 2) 明海大学 3) 名古屋学芸大学
20. 被災された地域における心の支援活動 第3報  
ー支援の基盤づくりと支援の方針を中心に  
樋口倫子<sup>1)</sup>、眞崎 由香<sup>2)</sup>、山内恵子<sup>3)</sup>、橋本佐由理<sup>2)</sup>  
1) 明海大学 2) 筑波大学大学院 3) 名古屋学芸大学
21. 被災された地域における心の支援活動 第4報  
ー5月に実施した仮設住宅での支援を中心に  
山内恵子<sup>1)</sup>、眞崎 由香<sup>2)</sup>、樋口倫子<sup>3)</sup>、橋本佐由理<sup>2)</sup>  
1) 名古屋学芸大学 2) 筑波大学大学院 3) 明海大学

## 一般演題発表（口頭発表）

《9月16日（日）9:50-11:20》 \_\_\_\_\_ P31-37（134講義室）

座長：村上多恵子（愛知学院大学）

瀬在 泉（武蔵大学）

1. 交通事故遺族のメンタルヘルス支援に関連する心理社会的要因  
～気質の発現認知傾向からみた支援について～  
塩澤百合子<sup>1)</sup>、宗像恒次<sup>2)</sup>  
1) 国際医療福祉大学保健医療学部看護学科 2) 筑波大学名誉教授 健康行動科学研究所
2. うつ病多剤大量使用者に対する SAT セラピーの効果について  
矢島京子<sup>1)</sup>、宗像恒次<sup>2)</sup>  
1) カウンセリングオフィス YAJIMA 2) 筑波大学名誉教授
3. 思春期女子生徒への SAT イメージ療法による「自傷行為念慮」の予防支援について  
山口豊<sup>1)</sup>、窪田辰政<sup>2)</sup>、橋本佐由理<sup>3)</sup>、宗像恒次<sup>4)</sup>  
1) 筑波大学大学院 2) 静岡産業大学 3) 筑波大学大学院 4) 健康行動科学研究所
4. 話し手の治療的コミュニケーション技法と非治療的コミュニケーション技法が  
聞き手の感情に与える影響—POMS を用いた調査から—  
上野栄一<sup>1)</sup>、松浦純平<sup>2)</sup>  
1) 福井大学医学部看護学科 2) 奈良県立医科大学医学部看護学科
5. 「夫婦関係ストレスマネジメント・プログラム開発のための予備的研究」  
北本宏明（AMP キャピタル・インベスターズ株式会社）
6. 女子学生へのメンタルヘルス向上支援の試み—追跡調査からみた事例の検討—  
上田敏子<sup>1)</sup>、窪田辰政<sup>2)</sup>、中嶋一恵<sup>3)</sup>、宗像恒次<sup>3) 4)</sup>  
1) 東京芸術大学 2) 静岡産業大学 3) 健康行動科学研究所 4) 筑波大学名誉教授

# 基調講演

ユニバーサルヘルス

宗 像 恒 次

学会長・筑波大学名誉教授

座長

保坂 誠

千葉県立保健医療大学

## 【講師プロフィール】

### 宗像 恒次 (むなかた つねつぐ)

1948 年 大阪府豊中市生まれ

1973 年 東京大学大学院修了

保健学博士 (東京大学大学院医学系研究科)

社会学修士 (東京大学大学院社会学研究科)

#### <経歴>

筑波大学大学院教授

世界保健機関(WHO)薬物依存局顧問

世界保健機関(WHO)エイズ世界対策局顧問

厚生省HIV 感染者カウンセリング検討会委員

国立精神・神経センター精神保健研究所社会文化研究室長

米国・カリフォルニア大学神経精神医学研究所客員研究員

日本学術会議行動科学研連委員

米国ハーバード大学医学部客員研究員

兵庫県人事委メンタルヘルス検討会委員長

日本公衆衛生学会評議員

日本保健医療行動科学会会長

#### <受賞>

Top 100 Health Professionals 2010, Cambridge, England

MARQUIS Who's Who in the World, USA 2010, 2011, 2012

Outstanding Intellectuals of the 21st Century Award, England

GREAT MINDS OF THE 21ST CENTURY AWARD, NORTH CAROLINA, USA, 2010

#### <現在>

筑波大学名誉教授

健康行動科学研究所所長

SAT療法センター長

特定非営利活動法人ヘルスカウンセリング学会会長

日本精神保健社会学会会長

千葉県スクールカウンセラー・スーパーバイザー

## 特別講演

釈迦は安らかに入滅されたか？

—現代脳科学から解く—

貝谷 久宣  
赤坂クリニック

座長  
橋本佐由理  
筑波大学大学院

### 【講師プロフィール】

貝谷久宣 (かいや ひさのぶ)

現職

医療法人和楽会理事長、パニック障害研究センター代表、京都府立医科大学客員教授

1943年名古屋生まれ。名古屋市立大学医学部卒業。ミュンヘン・マックスプランク精神医学研究所留学、岐阜大学神経精神医学科講師、助教授を経て、自衛隊中央病院神経科部長を務め、1993年なごやメンタルクリニック開院。1997年心療内科・神経科赤坂クリニック開院。同年不安・抑うつ臨床研究会設立、代表を務める。米国精神医学会海外特別会員。国際学術雑誌「CNS/Drugs」編集委員。医療法人和楽会理事長。日本筋ジストロフィー協会理事長。編著書に「新しい精神医学」「不安・恐怖症、パニック障害の克服」「脳内不安物質」などがある

# 特別講演

## ソマティック心理学

### —身体心理学から学ぶ3つのこと—

久保 隆司

アライアント国際大学

座長

宗像恒次

学会長・筑波大学名誉教授

#### 【講師プロフィール】

久保隆司（くぼ たかし）

1963年奈良生まれ。大阪大学人間科学部卒業。米国ジョン・F・ケネディ大学大学院修了。専攻はソマティック心理学／身体心理療法。臨床心理士。現在、アライアント国際大学／CSPP 臨床心理大学院非常勤講師。「ソマティック心理学」の第一人者。身体心理学の研究会や、ローゼンメソッド、ビオダンサなど身体技法のクラスも各地で開く。

主な著書に『ソマティック心理学』（春秋社、2011）、翻訳書に『PTSDとトラウマの心理療法 心身統合アプローチの理論と実践』（創元社、2009）などがある。



# シンポジウム I

## 「世界のユニバーサルヘルス」

### ● シンポジスト

#### 「中国での SAT によるユニバーサルヘルス」

楊文浩（雲南大学大学生健康心理教育センター）

胡文燕（浙江工商大学大学生心理健康教育センター）

#### 「欧州での SAT によるユニバーサルヘルス実現計画」

Frank Buttgen（ACEKI 国際研修部）

#### 「日本での自己報酬型キャリア支援とヘルシーカンパニー」

山本美奈子（株式会社エナジ-カンパニー）

#### 「WEB による SAT 人間関係アドバイス装置」

山本潤一（有限会社 光海カンパニー）

座長

竹馬庸裕（ちくばクリニック）

田中京子（ヘルスカウンセリングオフィスKR）

## シンポジウムⅡ

### 「危機回避から危機学習の支援へ」

#### ● シンポジスト

「重い障がいを負って生まれた娘を育ててくる中で  
学ばされたこと」

塩澤研一（公益財団法人 いのちの森文化財団）

「繊維筋痛症患者と家族の危機学習への支援」

中嶋一恵（健康行動科学研究所）

「アルコール依存者と家族の危機学習への支援」

塩谷育子（兵庫県立塚口病院）

座長

樋口倫子（明海大学）

塩澤百合子（国際医療福祉大学）

# 口 頭 発 表

## ポスター発表

## 第 19 回ヘルスカウンセリング学会学術大会アンケート

平成 24 年 9 月 15 ・ 16 日

1. あなたの職種名に該当するものの記号を○印で囲んで下さい。

イ. カウンセラー・セラピスト    ロ. 看護師    ハ. 保健師・助産師    ニ. 医師  
ホ. 歯科医師    ヘ. 歯科衛生士    ト. 管理栄養士、栄養士    チ. PSW・MSW  
リ. 教育、研究職（領域                              ）    ヌ. 学生（専攻                              ）  
ル. その他（    ）

2. 今後参考にさせていただくため、以下の事項にお応えください。

(1) 大会の全体の評価について、あなたのご期待にどのくらい添ったかを%  
でお答えください。

（    ） %

(2) 大会の具体的内容について、良かった点、不満な点をお書き下さい。

内 容    (良かった点)

(不満な点)

時間配分    (良かった点)

(改善点)

運 営    (良かった点)

(改善点)

(3) 特に興味深かった点は何ですか。

(4) 大会のテーマ・演題として関心のあるものを挙げて下さい。